

「ひとが人として認めあい、ともに育つ地域社会」

は～とふる 日光

ルールがないのが我が家の中のルール

飛田格子さん 市内病院整形外科科長
(大学病院整形外科非常勤講師)

- ・日本オリンピック委員会(JOC)強化スタッフ
(スケートシーズンは国内外へ大忙し)
- ・日本体育協会スポーツドクター

● 仕事と家庭を両立する上での協力体制は?

決まりがないのが、決まりです。それぞれの得意不得意に応じて、時間があるほうができるのをやり、自然に現在の形になりました。責め合うよりも、どちらかがやってくれたときにはありがとうと言いうようにしています。

日光に来てからも自分がやりたい仕事を、周りの応援もあってどんどんやれるようになりました。おかげで新しい世界を目にすることことができ、人生とても充実しています。

● 仕事と家庭を両立する上で苦労することは?

二人の**共有する時間**をつくることです。日曜日が基本的には休日ですが、ウインタースポーツシーズン(10月~3月)に入ると休みが取れない状態になり、そうなるとすれ違いで話しあえず、距離が遠くなってしまう感じます。

● 女性へのメッセージをお願いします

自分で限界を決めたりしないことです。これは女性には無理だと、これは結婚したら無理だからとか、子どもがいるとできないとか、そういうことを考えていると後悔が残ります。がんばりすぎることも必要ないけれど限界を決めないほうがいいと思います。

● パートナーへ一言

いつまでも若々しく、
おしゃれでいてね。
健康のためにたばこ
をやめてね。

(日光地域取材:毛塚博子・小日向智)



パートナーへ質問

飛田康夫さん (自営業)

○ 妻が働いていることについて、どう思いますか?

何の不満もありません。彼女の人生、キャリア、生き方を尊敬しています。お互いに尊重し合ってやっていなければと考えています。特に、彼女のすごいところは、どこに行っても楽しめるところです。「ここにきたら、ここで何かを見つけ、やらなければ。」という考えを持っています。

○ 妻へ一言

いつまでも健康でがんばって!



特集

「男は仕事、女は家庭」というような、固定的な性別役割分担意識を持っている方が、まだまだ多いようです。しかし、近年、あらゆる分野で活躍している女性が、クローズアップされてきています。

今回は、市内で活躍する女性とパートナーとの“家庭生活での協力”について、話をお聞きしました。

思いやり

できることは自分でする…大切な思いやり

ぬま お
沼尾 アツ子 さん (薬剤師)

調剤薬局に勤務。周りを明るくさせる笑顔の持ち主。
3男1女の母。



● 仕事と家庭を両立する上での協力体制は？

家庭では、お互いが相手の仕事を理解しているので、自分でできることは自分でしています。夫は家事を進んでやってくれます。特に料理の腕前は私以上です。

● 仕事と家庭を両立する上で苦労したことは？

どちらも中途半端になってしまふことに悩みました。でも、すべて仕事のせいにしないことを心がけています。

● 職場では、男女共同参画が進んでいると感じますか？

「お茶を入れることは女性の仕事」というようなこともなく、できる人が行う雰囲気になっています。リーダーの男女共同参画社会への意識が高いと、自然にそうなると思います。

● パートナーへ一言

いつもお世話になっております。これからも健康で仲良くやって行きましょう！

パートナーへ質問

沼尾 恵司さん (会社員)

○ 妻が働いていることについてどう思いますか？

いつも生き生きとしていて、話題が豊富なので会話も弾みます。私自身も特に意識せず、家事をしています。

○ 妻へ一言

いつまでも元気で、生き生きと働いてください。

(藤原地域取材：高梨房子・菅田和子)

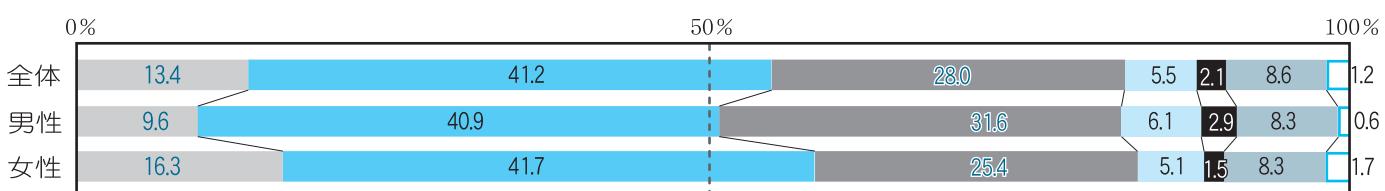
男女共同参画に関する 市民アンケート結果 から

市では昨年、2,000人を対象に「男女共同参画に関する市民アンケート」を実施し、「男女の地位の平等感」や「家庭生活と仕事について」などのアンケートにご回答いただき、報告書をまとめました。

今回は、本号特集「各分野で活躍する女性とそのパートナー」に関連するアンケート結果を見てみましょう。(回収率 36.5%)

□ 「男女の地位の平等感について」の結果です。

Q : 家庭生活で、男女の地位が平等になっていると思いますか。



認め合い、支えあう

パートナーとともに歩んで

● 仕事と家庭を両立する上で協力体制は？

お互のできることをできる範囲でやっています。協力するという感覚ではなく、そのような習慣になっています。



● 仕事と家庭を両立する上で苦労したことは？

医者の不養生とはよく言いますが、夫は患者さんばかり気にかけて、自分の健康管理がおろそかになります。介護などで家を空ける時が一番心配でした。

● 職場をまとめの秘訣は？

楽しく仕事をしたいと思っているので、院内では細かく気配りをしています。上からの目線ではなく「横に手をつないで」という気持ちでやっています。

● いつも仲良きいられる秘訣を教えてください。

よく話すことです。隠し事をしないで、何かあつたらすぐ相談するようにしています。相反した性格であり、常に新鮮でいられます。「違う」ということが2人の認識の基本にあり、その上でお互を尊重し、認め合う努力をしています。

● パートナーへ一言

地域の方のためにも、自分の健康に気を使い、がんばってください。

(足尾地域取材:石井セツ・高草木テル子)

たじまかよこ
多島佳代子さん（薬剤師）

大学を卒業後、大学病院に2年間勤務。結婚し出産を経て夫の実家へ戻り、子育て、親の介護と仕事を同時にってきた。現在は、お孫さんの面倒をみている。

パートナーへ質問

多島信彦さん（開業医院長）

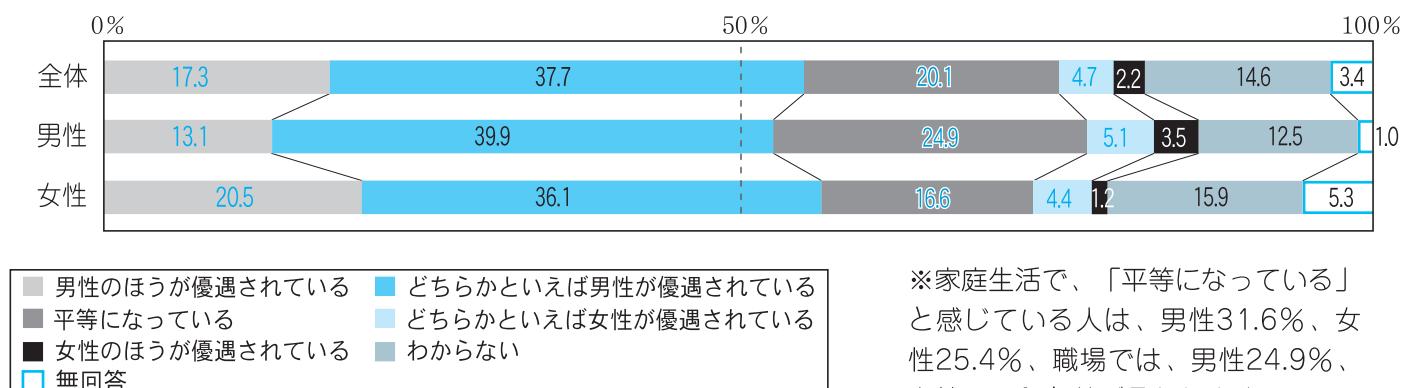
○ 妻が働いていることについてどう思いますか？

女性が積極的に社会に出て行くことは大賛成です。ただ、家庭でのふれあいの時間が足らない、希薄になっていることに関係があるような悲しい事件が起きています。行政や会社などの環境づくりが、まだまだ遅れていることに関係があるように思えます。

○ 妻へ一言

健康に気をつけて無理をせず、ストレスをためないようにしてください。

Q：職場で、男女の地位が平等になっていると思いますか。



仕事と家庭の両立は

支え合い、 助け合い



● 仕事と家庭を両立する上での協力体制は？

「家庭の中では、家事や育児は妻がするもの。」と母から言われていましたので、結婚後しばらくは仕事と家事をこなす生活が続きました。でも、いつのまにか夫が自然に家事を手伝ってくれるようになり、息子も協力してくれるようになりました。

その後、私の母が寝たきりになり、退職も考えました。結局、母を看取るまで、職場や教育委員会、ヘルパーさん達に支えられ、仕事を続けることができました。特に心強かったのは、夫が母の面倒を一緒に看てくれたことです。入院中は、仕事を終えてから毎日片道一時間以上かけて病院に一緒に行ったり、寝たきりになった頃は、下着やシーツを洗ってくれたり、お風呂の時は湯船の中で夫が待ち、母を抱いて入れてくれたりもしました。

● 仕事と家庭を両立する上で苦労したことは？

結婚後、出産までの間、体調不良などもあり5ヶ月ほど休み、職場に迷惑をかけました。その間、授業は先輩先生方が分担して進めていてくれました。家庭では、朝食と夕食は夫がつくり、昼食は母がつくってくれました。こうした家族や職場の周りの支えがなければ、今、私は仕事を続けられていなかっただし、仕事と家庭の両立も無理だったと思います。

わだすまこ
和田須満子さん（中学校校長）

現在、充さんと夫婦二人暮らし。一人息子の母。

● 二人の共通の時間はどのようにつくりられていますか？

週末など学校は休みですが、それぞれの職場に関連した行事があり、二人の時間はなかなか持てませんので、お互いの学校の部活動の大会に一緒に行き、応援したりしています。夫の学校のアイスホッケーの試合の応援に、二人で東京や軽井沢に行ったことも何度かありました。

● パートナーへ一言

いつまでも元気で!!

お互いに元気でなければ、これから的人生楽しめないし…。



パートナーへ質問

和田充さん（中学校校長）

○ 妻が働いていることについてどう思いますか？

まわりの家庭も共働きが多いし、特別なことではないのでは、と思います。

○ 妻へ一言

健康に気をつけて。

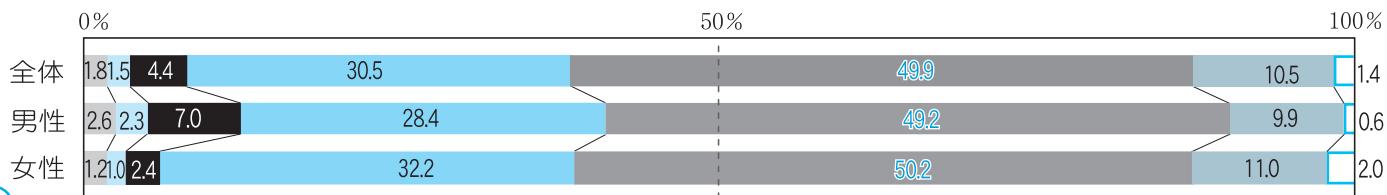
（今市地域取材：川島照子・熊谷圭久・手塚正紀）

男女共同参画に関する

市民アンケート結果 から

□「女性が仕事をもつことについて」の結果です。

Q：女性が仕事を持つことについて、どう思いますか。



日光市における男女共同参画の歩み

平成18年3月20日、新しい日光市が5市町村の合併により誕生しましたが、それからの男女共同参画に関する歩みを振り返ってみましょう。

(平成18年3月20日から平成19年6月まで)



年・月	歩 み
平成18年	
3月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 企画部に男女共同参画課を設置。女性サポートセンター（清瀧桜ヶ丘）が所管施設となる。
6月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 市役所内に市長を本部長とする「日光市男女共同参画社会づくり推進本部」を設置。 ○ 男女共同参画社会づくりに関する広報紙を編集するため、市民11名からなる「広報紙編集委員会」を設置。
7月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 男女共同参画社会づくり推進のため、市内の地域や各種団体推薦者等30名からなる「日光市男女共同参画社会づくり市民会議」を設置。
8月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 男女共同参画社会の実現を目指す計画を策定するため、市民15名からなる「男女共同参画プラン策定委員会」を設置。
10月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 栃木県女性の海外研修（ドイツ連邦共和国）に、女性3名を派遣。 ○ 男女共同参画に関する市民アンケート調査を実施。 ○ 男女共同参画社会づくりの広報紙「は～とふる日光」を創刊。
11～12月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 藤原、足尾、日光地域で男女共同参画セミナーを開催。
平成19年	
2月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 栗山、今市地域で男女共同参画セミナーを開催。
3月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日光市誕生1周年記念「男女共同参画社会づくりフォーラム2007 “にっこう”」を開催。 ○ 「日光市男女共同参画都市宣言文起草委員会」を市民10名により設置。 ○ 男女共同参画社会づくりの広報紙「は～とふる日光」第2号を発行。
6月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 市長を委員長とする市民20名により「日光市男女共同参画都市宣言実行委員会」を設置。 ○ 市内の各地域の女性団体が結集し、「日光市女性団体連絡協議会」を設立。



(プラン策定委員会での検討の様子)



(セミナーでの一コマ 栗山地域)



(フォーラムでのワンシーン)



(日光市女性団体連絡協議会設立総会)

- 女性は仕事を持たないほうがよい
- 結婚したら仕事をやめたほうがよい
- 子供ができたら仕事をやめたほうがよい
- 結婚や出産にかかわらず、仕事を続けたほうがよい
- 子供ができたら仕事をやめ、子どもが大きくなったら再び仕事を持つほうがよい
- その他
- 無回答

最も回答率が高かったのは、「子どもができたら仕事をやめ、子どもが大きくなったら再び仕事を持つほうがよい」49.9%（男性49.2%、女性50.2%）となっており、「結婚や出産にかかわらず、仕事を続けたほうがよい」30.5%（男性28.4%、女性32.2%）を上回っています。

応援 あなたの笑顔が見たいから…



やま こし はる よ
山越晴代さん（リフレクソロジスト）

埼玉から栗山に来て9年目に、地元の皆さん毎日、健康で元気に過ごせるお手伝いが出来ればと一念発起し、“リフレクソロジー(足裏反射区療法)”の資格を取得。今年の5月、自宅にサロンをオープンさせました。

また、ホームヘルパー2級も取得し、デイサービスの仕事もしています。

● 仕事を家庭を両立する上での協力体制は？

特に決まっていませんが、夫が保育園の送り迎えや家事等なんでもやってくれます。また同居している夫の両親も子育てや家事の面で、とても良く協力してくれます。

● 仕事を家庭を両立する上で苦労したことは？

この仕事を始めるに当たり、資格取得のための勉強会や講習会が土曜、日曜日の夜でしたので、子どもが小さかったこともあります。家族にはとても助けてもらいました。苦労したのは私ではなく家族です。家族の協力と応援がなければ、できなかった事なのでとても感謝しています。

● 家庭円満のために心がけていることは？

とにかく私自身が笑顔でいることです。自分が元気で明るく過ごせるよう心がけています。そのための健康管理には、とても気をつけています。健康第一です。

● パートナーへ一言

とても思いやりがある人なので、不満などはありません。やっちゃん、いつもありがとうございます。これからも体に気を付けてね！



パートナーへ質問

山越康之さん（自営業）

○ 妻が働いていることについて、どう思いますか？

お互い一緒に過ごす時間が減ってしまうことが残念ですが、一生懸命な姿を見ているので、地域の活性化のためにも応援しています。

○ 妻へ一言

これからも一緒にがんばろう！ 無理しないでね。

（栗山地域取材：斎藤春美・山越仁）

男女共同参画事業インフォメーション

日光市では、男女共同参画社会づくりを推進していくため、日光市のルール（条例）づくりを行います。この条例づくりに関わっていただける方（3名以内 無報酬）を募集します。

■応募資格 (1) 市内に在住・在勤している方 (2) 満20歳以上の方（平成19.9.1現在）
(3) 男女共同参画社会づくりについて関心があり、参画意欲がある方

■応募方法 所定の応募用紙により、郵送、FAX等の方法で10月15日（月）までにご応募ください。

※応募用紙は、本庁、各総合支所、各支所、出張所等にあります。市ホームページからも取り出せます。

※詳しくは、日光市企画部男女共同参画課（TEL 21-5148）までお問い合わせください。